

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	グリーンサイクル株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市港区昭和町13番
工場等の名称	グリーンサイクル株式会社
工場等の所在地	名古屋市港区昭和町13番
業種	サービス業（他に分類されないもの）
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	家電リサイクル業
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月24日 ～ 令和6年10月22日		
公表方法	☐	掲示 閲覧	（場所）
	☐	ホーム ページ	（HPアドレス）
	☐	冊子	（冊子名・ 入手方法）
	☐	その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-613-5701		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

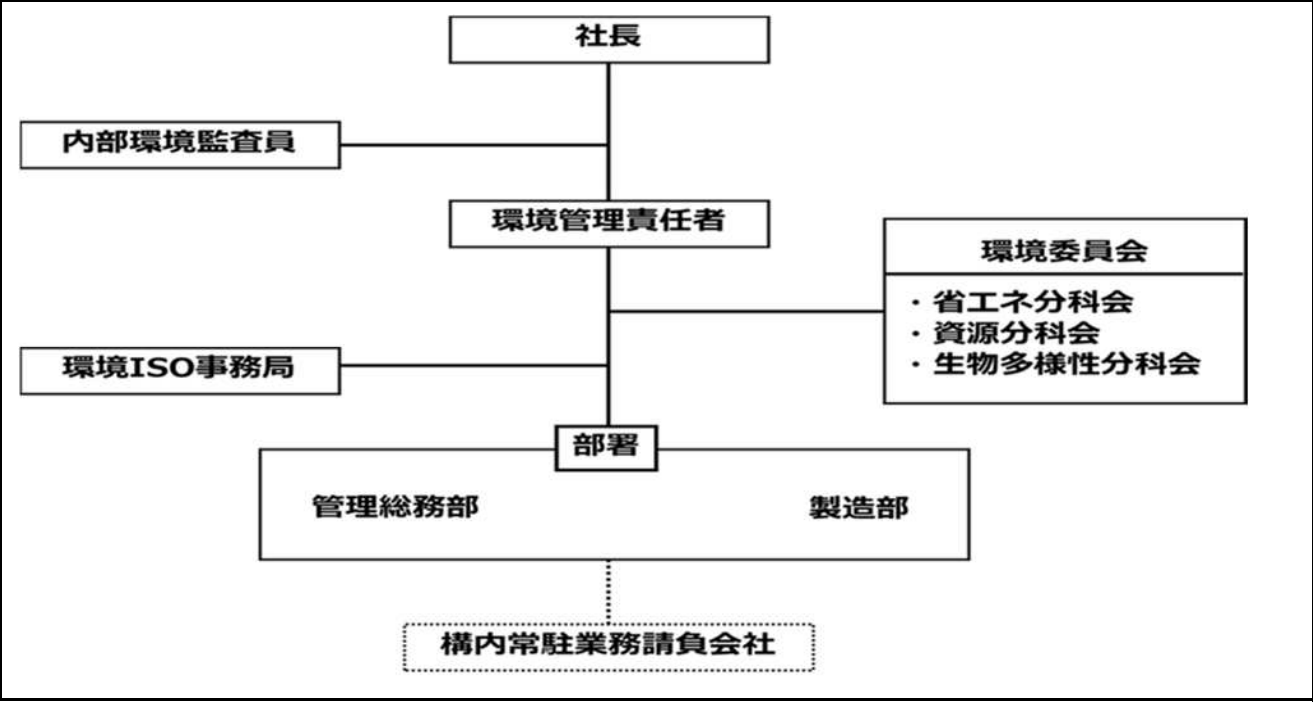
環 境 方 針

『地球環境保全に取り組むと共に、循環型社会の形成に貢献します』

行 動 指 針

1. 環境保全に関する全ての法規制及び社会規範を遵守します。
2. 使用済家電のリサイクル事業を通じて環境に与える影響を軽減します。
国内資源循環の拡大とフロンをはじめとする有害物質の適正処理を行います。
3. 事業活動と一体となった環境保全活動を実施し継続的な改善を行うことで、
環境負荷を与える温室効果ガス・廃棄物・水の使用量等を削減します。
また、生物多様性の維持にも努めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,998	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類	33,042	t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	35,040	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂			t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの排出量	811.8	kg-CO ₂ / t	809.4	kg-CO ₂ / t	1083	kg-CO ₂ / t	1064	kg-CO ₂ / t	kg-CO ₂ / t
削減率（対 基準年度）			0.3	%	▲ 33.4	%	▲ 31.1	%	%
原単位あたりのみなし排出量						kg-CO ₂ / t		kg-CO ₂ / t	kg-CO ₂ / t
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

入荷量減による影響で使用電力量等(原単位) が昨年度と比較し減少している

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進・設備運転の効率化	太陽光Step3：新倉庫棟屋根面に1,500㎡太陽光パネルを設置	200kwの太陽発電導入による再生可能エネルギーにより温室効果ガス6%削減	太陽光発電量206Kw(kwh)導入によりCO2排出量の削減効果に繋がっている
省エネルギー・省資源の推進・設備運転の効率化	夜間休日電力削減	①エアー漏れ削減 ②夜間休日コンプレッサー停止	夜間のエアー漏れ確認を継続的に実施
省エネルギー・省資源の推進・設備運転の効率化	100%照明LED化	工場内のすべての照明をLED化を目指す。現在：90%程実施済	LED・Hf採用100%実施済
グループ会社の定性評価基準に沿った全社活動	職場の省エネ推進	照明、空調、車両燃料	省エネ巡回を実施し、エアー漏れ箇所や空調の温度設定等の確認と対策を実施

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--